

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】令和 1 年 7 月 11 日 (2019.7.11)

【公開番号】特開 2017-225466 (P2017-225466A)

【公開日】平成 29 年 12 月 28 日 (2017.12.28)

【年通号数】公開・登録公報 2017-050

【出願番号】特願 2017-195526 (P2017-195526)

【国際特許分類】

A 2 3 D 7/00 (2006.01)

A 2 3 D 7/02 (2006.01)

A 2 3 D 9/00 (2006.01)

【F I】

A 2 3 D 7/00 5 0 4

A 2 3 D 7/02 5 0 0

A 2 3 D 9/00 5 0 2

A 2 3 D 9/00 5 1 6

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 6 月 6 日 (2019.6.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

可塑性油脂組成物中の油脂に占める、MMM の含有量が 0.01 質量% 以上 5 質量% 未満である可塑性油脂組成物であって、前記油脂が、16 ～ 50 質量% の L2X 油脂と、10 ～ 65 質量% のラウリン TAG 油脂および / または 5 ～ 50 質量% の乳由来油脂と、を含む、前記可塑性油脂組成物。

ただし、M、L、X、MMM、L2X 油脂およびラウリン TAG 油脂は、以下を意味する。

M：炭素数 6 ～ 10 の脂肪酸

L：炭素数 16 ～ 24 の飽和脂肪酸

X：炭素数 16 ～ 24 の不飽和脂肪酸

MMM：グリセロール 1 分子に 3 分子の M が結合したトリアシルグリセロール

L2X 油脂：40 質量% 以上の、グリセロール 1 分子に 2 分子の L と 1 分子の X が結合したトリアシルグリセロール (L2X)、を含有する油脂

ラウリン TAG 油脂：40 質量% 以上の、構成脂肪酸として少なくとも 1 分子のラウリン酸を含むトリアシルグリセロール (ラウリン TAG)、を含有する油脂

【請求項 2】

前記油脂に占める、L2M および LM2 の合計含有量が 0.01 ～ 10 質量% である、請求項 1 に記載の可塑性油脂組成物。

ただし、L2M および LM2 は、以下を意味する。

L2M：グリセロール 1 分子に 2 分子の L と 1 分子の M が結合したトリアシルグリセロール

LM2：グリセロール 1 分子に 1 分子の L と 2 分子の M が結合したトリアシルグリセロール

【請求項 3】

前記油脂に占める、前記 L M 2 の含有量に対する前記 L 2 M の含有量の質量比 (L 2 M / L M 2) が、0 . 0 5 ~ 4 . 5 である、請求項 2 に記載の可塑性油脂組成物。

【請求項 4】

前記油脂に占める、ラウリン酸含有トリアシルグリセロール (ラウリン T A G) の含有量が 6 ~ 5 4 質量 % である、請求項 1 ~ 3 の何れか 1 項に記載の可塑性油脂組成物。

【請求項 5】

前記油脂に占める、L 2 X の含有量が 8 ~ 4 0 質量 % である、請求項 1 ~ 4 の何れか 1 項に記載の可塑性油脂組成物。

【請求項 6】

前記油脂に占める、L X 2 および X X X の合計含有量が 1 0 ~ 7 0 質量 % である、請求項 1 ~ 5 の何れか 1 項に記載の可塑性油脂組成物。

ただし、L X 2 および X X X は、以下を意味する。

L X 2 : グリセロール 1 分子に 1 分子の L と 2 分子の X が結合したトリアシルグリセロール

X X X : グリセロール 1 分子に 3 分子の X が結合したトリアシルグリセロール

【請求項 7】

2 ~ 7 0 質量 % の M M M と、2 0 ~ 9 8 質量 % の L 2 M および L M 2 と、を含む可塑性油脂組成物用の添加剤を、油脂中に 0 . 0 5 ~ 1 5 質量 % 含む、請求項 1 ~ 6 の何れか 1 項に記載の可塑性油脂組成物。

【請求項 8】

2 ~ 7 0 質量 % の M M M と、2 0 ~ 9 8 質量 % の L 2 M および L M 2 と、を含む可塑性油脂組成物用の添加剤を、油脂中に 0 . 0 5 ~ 1 5 質量 % に使用する、請求項 1 ~ 6 の何れか 1 項に記載の可塑性油脂組成物の製造方法。